

# ファミリーレストランにおける勤務表作成支援システムの構築

025040 大塚 一喜

(指導教員 速水 治夫 教授)

## 1. はじめに

ファミリーレストランでは勤務表の作成を一人の社員が行っている。一枚の勤務表には、一日勤務する全員の勤務時間が書かれている。この勤務表の作成は約 20 分から 30 分かかり、忙しい仕事の中で大変な時間のロスである。また、この社員に他の業務が発生すると勤務表の作成を中断しなくてはならない。

## 2. 目的

本研究は、少しでも勤務表の作成にかかる社員の負担を軽減したいと考え、勤務表作成の一部を自動化することにより、勤務表作成の時間を短縮することを目的とし、目的達成のために、勤務表作成支援システムを開発した。

## 3. システム構成

本システムは図 1 に示す、個人データ処理、個人スケジュール処理、勤務モデル処理、勤務表処理、月末処理の 5 つの処理によって構成される。

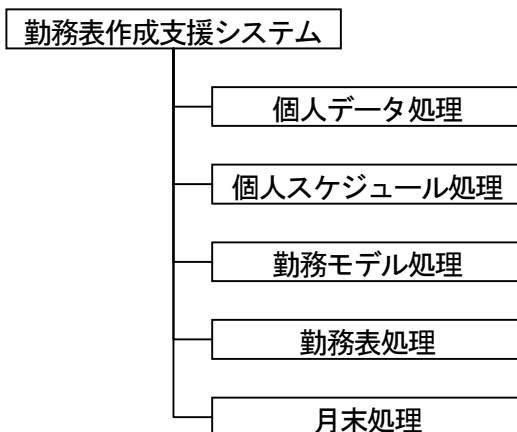


図 1. システム構成図

本システムで勤務表を作成する場合は、まず、個人データ処理で、勤務者の氏名や社会保険に加入しているかなどの情報と、業務能力を入力する。

次に、個人スケジュール処理で、出勤スケジュールを入力し、次に、勤務モデル処理で、使用者が作成した勤務モデルを入力する。これらの作業を段階的に行うことにより、初めて勤務表が作成できる。

## 4. 評価

実際に勤務表を作成している社員に、従来の方法と、本システムを試用の 2 種類の方法で月曜日と日曜日の勤務表を作成してもらい作成時間を計測した。本システムでは出力フォーマットを手書形式に整えることを省略した。このため出力を手書用紙への転記時間も含めて計測した。業務改善により出力形式を変更すれば、さらに時間短縮となる。

その結果、図 2 に示すように、どちらの曜日も本システムを使用した場合勤務表作成にかかる時間が短縮されたことが確認できた。

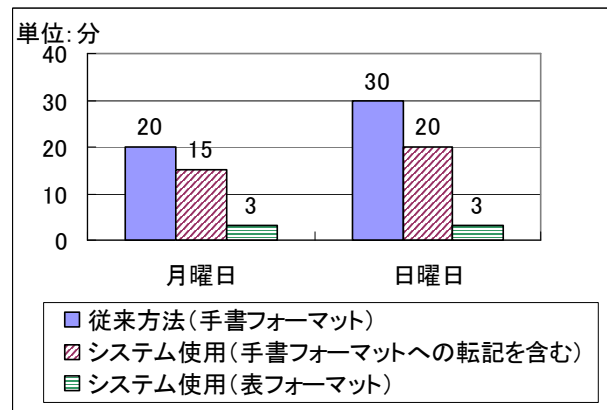


図 2. 勤務表作成時間

## 5. まとめ

勤務表作成支援システムを開発することにより、従来の方法よりも勤務表作成にかかる時間を短縮するという目的を達成できた。今後の課題として、作成された勤務表を所定フォーマット化することと、週間単位でスケジュールを入力できるようにすることなどが残されている。